NO.	92		講点	講座形式		体験型		
講座名	教科書から始まる身近な自然							
分 野	メインの分野 地球温暖化防止		リサイクル・廃棄物	生物多様性・自然	保護 森林保全	€・緑化	大気環境保全	
	護						7 - 11	
	水環境保全化学物質対策		環境全般	地域環境管	望 消費	• 生活	その他	
	幼稚園・保育園	推園・保育園 小学校(低学年)		小学校(高学年) 中学生		 交生	大学生	
対 象 者	1-	0	0					
	一般	企業・事業所	対象その他					
参加可能人数	10名~30名		実施時間	€ 施 時 間 45分~90分				
目的	自然を中心に、理科・国語の横断的学習を行うことにより探究心を育てる。							
プログラム内 容	【導入】観察の面白さを知る・ 日ごろ使っている国語の教科書をクイズ形式でナチュラリスト的に解説。 例:小3国上「もうすぐ雨」に描かれているカエルの挿絵は、アマガエルであるとわかる。なぜか? 【プチ体験】ルーペや実態顕微鏡、実験などを用いていろいろなものを観察する。 例:「植物の光合成実験」「アメンボはなぜ浮くか」など 【まとめ・ふりかえり】 ※年齢、時間、時期、人数に応じてプログラムを修正							
申込者側で 用意してい ただくもの	プロジェクターもしくはパソコンをつなげられるテレビ			ごモニター	申 込 者 (材料費等負		~100円/1人	
条件•注意点								
代表講師氏名	南家 聡一郎							
代表講師経 歴	1974 年生まれ ■資 格:森林インストラクター ■専門分野:自然教育プログラムの企画・運営、野山の花 ■活動内容:自然教育プログラムの企画・運営、インタープリター(川の生き物・野山の花)							
そ の 他 スタッフ								
メッセージ	息子(小学生)の国語の教科書を読んで気づく。カエルと書かれているが、挿絵、内容からアマガエルと気づく。 キツツキと書いてあるが、アカゲラであることに気づく。しおれた葉っぱの原因をルーペで発見すると、子 どもの目は輝く。また見たい!その目の輝きを(^^♪							